

地元企業の優先と、地域間格差是正へ活発に意見交換

九州ブロック移動全国連を沖縄県で開催



意見交換の様子

二〇〇七年度移動全国連九州ブロック商工会・県連・全国連交流推進会議(主催：全国商工会連合会)が二月五日十三時三〇分より、宜野湾市のラグナガーデンホテルで開催された。九州・沖縄各県の商工会・商工会連合会・青年部・女性部の関係者ら約二百五〇人が参加した。会議では、岩井良行中小企業庁次長が、「中小企業政策について」説明。三浦カルチャースタディーズ研究所主宰が「まちづくりにおける商工会の役割」について講演し、清家全国連会長も、商工会による地域振興の事例などを紹介した。

意見交換では、まず大城保沖縄国際大



歓迎の挨拶をする萩堂会長



会場の様子

商工会の役割」について述べ、続いて萩堂盛秀県連会長が「地域間格差の是正と地元企業優先について」訴え、また、照屋与那原町商工会会長が「経営革新による企業支援について」事例を報告した。

また、フロアからも地元企業の優先や、青年部活動、農商工連携の取組みに対する要望、郵政民営化後の問題点の指摘等活発な意見が交わされた。

移動全国連終了後は、安里カツ子副知事、福井武弘沖縄総合事務局長も出席し、和やかに懇談会が開催された。



安里カツ子(懇談会)

